

オピニオン

13方月前の全国一斉休校から始まった新型コロナウイルスの感染拡大は、まだ収束のめどは立たず、学校行事は厳重な感染防止対策を講じ、その中で実施を余儀なくされることとなった。

修学旅行もコロナ禍では時間や距離や泊数まで縮小するに至るところも現れた。従来から根強くあった遠くへ行きたい志向から、近くでも内容があり、感動があり、教育効果が高い行き先が求められる時代となった。つまりは、交通費が安く、道中の時間も短くなり、それはそのまま内容の充実に向かうことになる。

コロナ禍の生活ではスマホやパソコンを使う時間が増え、ゲームソフトの会社が高収益を上げていく。緊急事態宣言が延長されると、若者は我慢の限界など口をそろえて言うように、スマホやSNSでのコミュニケーションでは満足せず、直接会って話す

新しい価値を創造する修学旅行

こと、つまりは人と人の関係の素晴らしさと大切さを実感するに至る。

修学旅行においても、何をやるのか、いくつ回するのか、はたして、どれだけの人と出会い、交流し、コミュニケーションを大きな教育的価値とするのか、この時代に生きる生徒にとってこの時代に生きる証となるような体験交流が、生きる力を育むこととなる。

また、「2030年までに貧困を根絶し、持続可能な未来を追求しよう」というSDGsの目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」が2015年9月に国連総会で採択された。そこに盛り込まれているのが、世界を変えていくための17の目標「SDGs」。

途上国も先進国も含めた世界中の一人一人に関わる取り組みで、2016年1月から実施が始まっている。17の目標を順番に並べ、何がどの目標に合致するのかが考え

る機会が求められており、修学旅行でもその学習の場となることが期待されている。

2020年に向けて、ワークシートの活用が進み、PCRや抗原検査体制が拡大し、安全の信頼度を高める修学旅行が実施されるため、期待が膨らむ。「SDGs」や「体験交流」「教育」を重視し、未来に向けて新しい価値を創造すること、修学旅行の姿がある。

本紙で次に紹介する15の地域は、安心、安全の新型コロナウイルス対策はもう、新学習指導要領の「主体的、対話的で深い学び」と「SDGs」にも対応している。修学旅行の目的として、ぜひご利用いただけます。よろしくお願いいたします。

全国ほんもの体験ネットワーク会長/全国教育旅行協会 会長/株式会社体験教育企画 代表取締役 藤澤安良

北海道・標津

【起床の自然環境・産業・食・平和学習・歴史文化】

世界自然遺産知床の南に位置する当町は、海、山川、大平原のあふれる資源に囲まれ、1万坪の間人々が暮らし続けている痕跡が残る唯一の地域。北は知床国立公園、東の山々が連なり、東の海岸から24km先に北方領土国境が望め、内陸にはミルクの里の雄大な牧草地帯が広がっており、1年間続く暮らしを体感する歴史文化に基づいた地域ストーリーを軸

に、地域の人々の暮らし、必要な管理点を監視するシステムを当地ではクラウドで行っており、や新着旅行体験を「食への理解を深める」と通してきます。

国内初となる食の安全・安心供給システムを水産物、周辺地域の連携、産地活動として「地域ハサップ」生産活動として「酪農家民泊の受け入れ」プログラム化し、学習素材として提供しています。

伝い、労働の姿を家族の製品検査だけでなく、原産地の一員として汗を流す材料の生産から加工、流し、収穫の喜びを共有

北方領土の平和学習と 鮭に支えられた暮らしに学ぶ

道の間近までやってきたこと、北方四島に住んでいる1万7千人の人々が着の身のまま島を追い求めた歴史については、あまり知られていないのが国内の現状です。その島民の高齢化に伴い、引き継ぎが難しくなっているのが事実です。

【日本遺産「鮭の聖地」の物語】根室海峡一万年の道程

根室管内の四つの市町(根室市、標津町、別海町、羅臼町)に住む人々は、鮭と密接な関わりを持つ歴史を歩んできました。2020年6月19日、人と鮭の関わりを語る「鮭の聖地」の物語は、日本遺産の物語として文化庁に認定されました。

当町には、約4000個を超える古代の堅穴住居跡の無数のほみや、尾跡の無数のSDGsを学ぶことができます。

「安全安心」清潔に加工された「自然共生」環境志向の取り組みも強化されています。この地が鮭を求めて



【起床の自然環境・産業・食・平和学習・歴史文化】

世界自然遺産知床の南に位置する当町は、海、山川、大平原のあふれる資源に囲まれ、1万坪の間人々が暮らし続けている痕跡が残る唯一の地域。北は知床国立公園、東の山々が連なり、東の海岸から24km先に北方領土国境が望め、内陸にはミルクの里の雄大な牧草地帯が広がっており、1年間続く暮らしを体感する歴史文化に基づいた地域ストーリーを軸

標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会

コロナ安全対策で体験交流を

岩手県・田野畑村



岩手県沿岸部に位置する田野畑村は、人口約3200人の農山村で、観光資源が豊富です。三陸復興国立公園に指定されている海岸線は、高さ200m前後の断崖が約8kmにわたって続きます。

三陸復興国立公園 大震災の伝承と織りなす大自然

岩手県沿岸部に位置する田野畑村は、人口約3200人の農山村で、観光資源が豊富です。三陸復興国立公園に指定されている海岸線は、高さ200m前後の断崖が約8kmにわたって続きます。

新潟県・上越市・十日町市



新潟県上越市、十日町市には田舎らしい風景、どを体験し、地域の連携を築いていきます。

心高まる体験・交流を 人と人をつなぐ越後田舎体験

【お褒めプログラム】

サッパアドベンチャー

三陸復興国立公園

【お褒めプログラム】

サッパアドベンチャー

三陸復興国立公園

【お褒めプログラム】

サッパアドベンチャー

三陸復興国立公園

越後田舎体験推進協議会

新潟県上越市安塚区安塚722-3

NPO法人 体験村・たのはたネットワーク

岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、民泊の受け入れを停止しています(4月3日時点)。